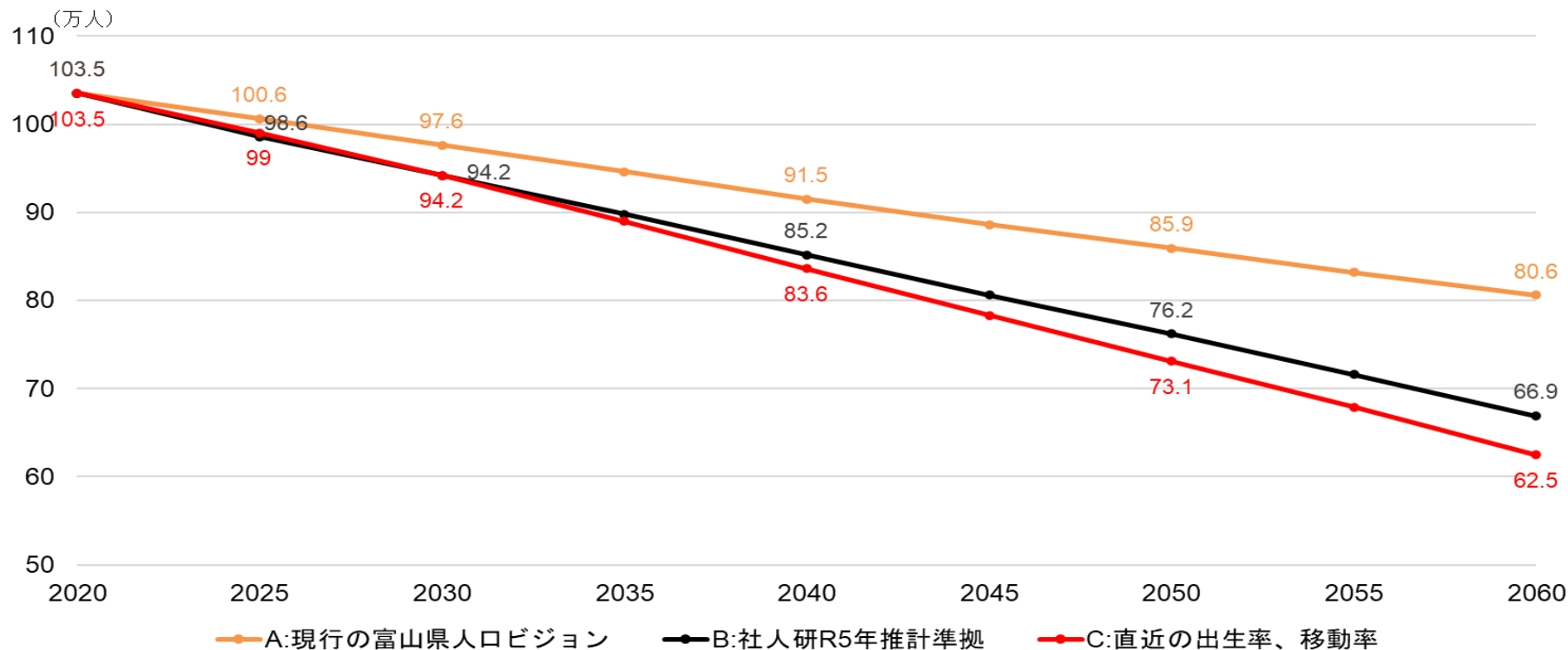


富山県人口未来構想骨子（案）

資料5

- ・富山県の将来人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計方法や直近の指標を用いて試算した結果、2060年には62～66万人台まで減少する見込み。
- ・引き続き、国から提供されたデータを活用し、国の新たな長期ビジョンも勘案しつつ、新たな総合計画の策定の中で議論・検討を進め、本県の新たな人口ビジョンを策定する。



（出所）国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」をもとに富山県試算

【試算の仮定等】

A：現行の富山県人口ビジョン…自然増減：2030年：1.9 2040年：2.07

社会増減：2020年までに若者（15～34歳）の移動均衡

B：社人研R5年推計準拠…自然増減：2025年：1.31、2030年：1.35、2035年：1.39、2045年：1.40、2050年以降：1.40程度で推移

社会増減：2025～2030年の間に転入超過に転じ、以降継続

C：直近の出生率、移動率を用いた試算…自然増減：社人研推計（R5年推計）による2025年の出生率（1.31）が継続

（現行の水準が継続すると仮定）

社会増減：独自試算（2023年富山県人口移動調査をもとに試算）した2023年の移動率が今後も継続

富山県人口未来構想骨子（案）

- ・富山県人口未来構想本部での議論を踏まえ、人口減少への対応として直ちに取り組むべきものについて、令和7年度当初予算に反映するとともに、人口未来構想としてとりまとめる。
- ・なお、中長期的な課題への対応については、新たな総合計画の策定の中で議論・検討していく。

人口減少自体への対応

自然減の抑制

子育て支援・
少子化対策

こども
まんなか社会

社会増への転換

産業振興

移住促進

観光振興

人口減少社会への適応

労働力不足への対応

担い手確保

労働生産性
向上

外国人材活躍
・多文化共生

地域の総合力アップ

持続可能で
安心して暮らせる
地域の環境づくり
（インフラ維持管理、中山間
地域の振興、防災・減災、
医療・介護、公共交通、
まちづくり等）

教育・人づくり

関係人口の拡大・深化